

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	稚児野台地国道9号改良関連事業							事業コード	210115		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課				所属長	小西 晴之				
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算付属資料	168	頁
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	国道9号夜久野改良事業を契機に、稚児野台地にある本市と養豚業者との共有地等において、本市が養豚業者と共有している建物及び市道の急傾斜法面を適正に管理し、倒壊リスクや崩壊リスクを回避するため一体的に用地を取得する。				
対象者	夜久野町住民	対象者数	3,068	単位あたりコスト	2.9
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,004		72,276		74,156		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		△ 67,181		67,181				
	前年度繰越	0		0		67,181				
	次年度繰越	0		△ 67,181		0				
	小計(①～③)	3,004		5,095		141,337				
予算財源内訳	① 一般財源	404		5,095		141,337				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	2,600		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 34		0						
	② 配当予算	2,970		5,095						
	③ 執行額	1,438		4,808						
	④ 執行率	48.4%		94.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.65	/	0.00	0.50	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	5,200		4,000		4,000		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,638		8,808		4,000		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	事業用地取得面積	ha	0	/	2.6	0	/	2.6	0	/	2.6
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	地権者協議回数	回	5	/	15	2	/	15	3	/	8
	単位あたりコスト		269.1		719.0		1602.7				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・旧夜久野町時代からの養豚団地の地域外への移転と地域振興につながる跡地活用についての強い地域要望に基づき、養豚業者の用地取得に伴う用地交渉を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・国道9号夜久野トンネル開削事業との一体的な整備計画を策定することにより、国と市との役割分担を明確にしコスト削減を図った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・関連する国道9号夜久野トンネル開削事業の進捗と地域振興にかかる有効な事業である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・本市が養豚業者と共有している建物及び市道の急傾斜法面を適正に管理し、倒壊リスクや崩壊リスクを回避するため一体的に用地を取得するため、養豚業者と用地交渉を行っているが、買収金額の合意が得られず交渉が不成立となっている。		
改 善 策	・道路河川課と連携して養豚業者との用地交渉を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)							事業コード	210165		
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標 2 産業基盤の整備						
	施 策 名		1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード		921	
事業担当	所 属	25020000 産業政策部 農林業振興課				所属長	藤澤 稔				
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	地域再生計画(道路整備)				R4現在の状況	継続中
根拠法令等	地域再生法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	通常の林道機能に加え、観光道路としての位置づけも視野にいて事業を実施することにより、持続可能な生活を支えることと道路等の適切な維持管理を目指す。				
対象者	森林所有者(大江山線)	対象者数	6	単位あたりコスト	3,728.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,000		20,000		20,600		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	20,000		0		0								
	③ 繰越予算	7,994		0		0								
	前年度繰越	7,994		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		37,994		20,000		20,600								
予算財源内訳	① 一般財源	1,534		1,000		1,100								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	19,460		10,000		10,300								
	④ 地方債	17,000		9,000		9,200								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	78		50										
	② 配当予算	38,072		20,050										
	③ 執行額	38,071		20,049										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.67	/	0.00	0.29	/	0.00	0.00	/	0.00				
	② 概算人件費	5,360		2,320		2,320		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		43,431		22,369		2,320		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)(地方創生道整備推進交付金)			種類	農林業費府補助金		10,000		決算付属資料	28		頁
							実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	丹州材の出荷量	m3	3430	/ 9300	2125	/ 10000	集計中	/ 10000	/ 10000	10000	
	国定公園への来訪者数	人	123000	/ 257000	114000	/ 257000	73000	/ 257000	/ 257000	257000	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	事業実施延長(大江山線)	m	27	/ 48	42	/ 51	48	/ 45	/ 35	合計延長300m	
		単位あたりコスト	1458.6		906.5		417.7				
	事業実施延長(額田大油子線)	m	79	/ 79	41	/ 40	-	/ -	/ -	合計延長620m	
		単位あたりコスト	498.5		928.6						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	◇観光道路及び災害時の迂回路として市管理林道を整備するものであり、市道とあわせてネットワークを構築するための重要な事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	◇適正な歩掛により積算の上、入札により業者を選定し、法面改良工事を実施した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	◇成果実績は毎年度把握している。 ◇地域再生計画に基づき実施しているものであり、有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇市道とともにネットワークを構築する事業であり、この事業を実施することで森林整備につながる林道改良により間伐材の搬出量の増加や大江山への観光客の誘客に寄与している。 ◇令和5年度以降、林道大谷線・林道新大谷線を実施検討中である。		
改 善 策	◇地域再生計画として認定されている事業計画について、予算を確保しながら継続的に実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	安心・安全の森づくり事業										事業コード	210199		
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標 2 産業基盤の整備								
	施 策 名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード		921						
事業担当	所 属	25020000 産業政策部 農林業振興課					所 属 長	藤澤 稔						
会計情報	款	06 農林業費		項	02 林業費		目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	172・174	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	災害の発生により、溪流から流出する土砂を防止する補助を減災、防災を目的に実施する。 また、被災した林道・作業道の復旧を行い、森林整備の早期再開を図る。 京都府施行の治山事業と併せて、治山施設の下流域の水路整備を行うことで、下流域の安全を確保する。					
対象者	林道作業道管理者（対象者数は路線数）		対象者数	14	単位あたりコスト	1,288.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他（					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	38,157		16,836		13,789		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	△ 6,758		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		31,399		16,836		13,789							
予算財源内訳	① 一般財源	22,695		7,282		8,289							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	7,724		9,054		3,018							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	980		500		2,482							
決算情報	① 流充用額	3,071		△ 42									
	② 配当予算	34,470		16,794									
	③ 執行額	34,279		15,712									
	④ 執行率	99.4%		93.6%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00			
	② 概算人件費	2,560		2,320		2,320		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		36,839		18,032		2,320		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	安心・安全の森づくり事業(林道・作業道維持管理等)		種類	農林業費分担金		430		8	頁		
			安心・安全の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)			農林業費府補助金		8,442					
						実績金額							
								決算付属資料		28			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	丹州材の出荷量	㎡	3430	/	9300	2125	/	10000	集計中	/	10000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	補助金交付件数	件	1	/	12	3	/	8	-	/	-
	単位あたりコスト		17248.3		11426.3						
	林道・作業道維持路線		15	/	28	17	/	22	14	/	11
		単位あたりコスト	1149.9		2016.4		1122.3				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	木材搬出を推進するために、な林道・作業道の基盤を整備することは必要であり、令和3年度についても14路線の復旧を実施した。 また、近年の豪雨等により多くの治山事業が必要で実施されており、その下流域の水路整備はニーズは高い中、治山事業と連携して事業実施した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	コスト削減の観点では、適正な歩掛により、単価を出したうえで、単価契約を締結した。 治山事業に関連した水路整備であり、地元負担金を徴収せずに実施をしている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	成果実績は毎年確認できている。森林所有者の一部負担はあるものの、国庫補助とならない林道・作業道の復旧を市独自で行うことで、森林への関心を引きとめられる有効な事業であり令和3年度も事業実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	◇令和3年度は京都府施工の治山工事に合わせ、流末水路の整備を行うことで更なる災害防止を図っている。 ◇一部負担を取りながら林道・作業道の復旧を行い基盤整備を推進しているが、近年の豪雨により要望箇所が増加している。 ◇今後も京都府の治山事業の実施箇所の現場状況に応じ、流末水路整備等の事業実施が必要である。		
改 善 策	◇私有山林等の間伐促進及び、間伐材を搬出するためにも重要な事業であり、要望箇所も非常に多いため、委託方法等を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	国府事業(各団体・同盟会活動関係経費)							事業コード	110472					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費		項	01 土木管理費		目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-					R4現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	国道9号、国道429号等の整備並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の確実な事業推進のための予算確保を目的として、国会議員及び国土交通省等に対して要望活動を実施する。また、各種全国大会に参加することにより各事業の予算確保と事業進捗を図り、事業の早期着手・完成を目指す。その結果、事業の確実な進捗が図られ、市民の安心・安全並びに利便性の向上が期待される。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,784		1,855		1,855		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		1,784		1,855		1,855								
予算財源内訳	① 一般財源	1,784		1,855		1,855								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		△ 435										
	② 配当予算	1,784		1,420										
	③ 執行額	1,333		1,406										
	④ 執行率	74.7%		99.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.92	/	0.00	3.15	/	0.00	3.15	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	23,360		25,200		25,200		25,200		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		24,693		26,606		25,200		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	福知山道路(5.8km)の進捗率		%	76	/	76	77	/	77	77	/	78	100
	国道429号事業箇所数		箇所	2	/	2	3	/	3	3	/	3	3
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標		単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	同盟会総会、要望活動		回	32	/	33	31	/	45	18	/	25	25
	単位あたりコスト			54.4		43.0		78.1					
				/		/		/		/			
	単位あたりコスト												

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・道路改良、歩道整備等は自治会から多数の要望があり、市民の関心も高い。 ・同盟会活動は、地元自治会、商工関係者も会員となり活動している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・協議会や協会の分担金は府・市町で公平に負担している。 ・同盟会の会費・負担金も各市町や各組織で負担している。 ・一度の出張で複数の要望を行うなど経費削減に努めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・国会議員や府・県議会議員とともに要望活動を実施しており、国道・府道等の整備は着実に進んでいる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	国道9号、国道429号をはじめとした道路整備、並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の推進を図るための予算確保について、国会議員及び国土交通省等に対して要望活動を実施してきた。その結果、毎年度、道路整備における予算確保が実現している。同様に、各種全国大会に参加することによる各事業の予算確保と事業進捗についても図られている。課題をあげるとすれば、コロナ禍による要望活動の実施スタイルが変容しており、柔軟な対応が求められているが、要望活動の実施方法等についても検討が必要になってくると考える。		
改 善 策	オンラインを活用した要望活動についても、他市町等の状況も踏まえて検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	土木一般管理事業							事業コード	510117					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費		項	01 土木管理費		目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	182・184	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	ー			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	建設交通部の事務執行が滞りなく進められるよう、部で使用するシステムや電子機器等の維持管理、消耗品などの管理・調達を行う。 建設交通部及び道路河川課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的に適正な道路行政を実施する。						
対象者	-		対象者数	-		単位あたりコスト	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,664		11,902		11,953		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	1,132		500		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		11,796		12,402		11,953							
予算財源内訳	① 一般財源	208		500		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	11,588		11,902		11,953							
決算情報	① 流充用額	888		482									
	② 配当予算	12,684		12,884									
	③ 執行額	11,593		12,884									
	④ 執行率	91.4%		100.0%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.16	/	0.00	2.21	/	0.00	2.21	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	17,280		17,680		17,680		17,680		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		28,873		30,564		17,680		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	12,795		決算付属資料	10		頁
		土木積算単価データ利用料下水道課負担分			雑入			89			46		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	執行額		— / —		— / —		12884 / —		— / —		—
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	トナー購入数(カラー・モノクロ)	本	75 / 75		60 / 50		90 / —		— / —		—
	単位あたりコスト		140.9		193.2		143.2				
	PPC用紙購入数(A4)	箱	460 / 460		476 / 460		415 / —		— / —		—
	単位あたりコスト		23.0		24.4		31.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・経常経費の事業であり、必要不可欠である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・建設交通部で共通する経費について、一元的に管理することで、部内で事務が重複することなく効率的に執行できる。 ・大型の複写機等、機器の契約更新時にはコスト比較を行い、経費削減に努めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・機器の使用状況や消耗品の発注数は管理・把握しており、無駄なく、かつ事務に支障が出ないよう努めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	内部庶務事業であり、コスト縮減や効率化が図れる部分については、随時見直しに努めている。とくに複写機の賃貸借契約については、契約更新時に導入について十分に検討を行なったことから、削減効果がでている。 管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】引き続き、適正な事務執行に努める。		
改 善 策	定期的に事務の見直しを行い、事務効率化およびコスト削減について継続的に検討を続け、よりよい道路行政の実施に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	道路台帳整備事業							事業コード	120121					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	01 道路橋りょう総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	道路法第28条													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	道路台帳を正確に整備し、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新していく。 道路行政の執行及び市民の経済活動その他に寄与する。				
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,300		3,080		3,080		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		3,300		3,080		3,080								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	3,300		3,080		3,080								
決算情報	① 流充用額	253		1,154										
	② 配当予算	3,553		4,234										
	③ 執行額	3,553		4,234										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.53	/	0.00	0.53	/	0.00	0.53	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	4,240		4,240		4,240		4,240		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,793		8,474		4,240		4,240		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	4,226		決算付属資料	10		頁
			道路幅員証明手数料			土木手数料			4			14		
			コピー代			雑入			4			46		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	台帳更新業務	件	2	/	2	2	/	2	/	2	-
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	補正路線数	路線	33	/	60	31	/	60	13	/	-
		単位あたりコスト	438.0		114.6		325.7				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・道路台帳の整備は道路管理者である市しか実施し得ず、また、道路法に基づく道路行政の執行及び市民の経済活動その他においても道路台帳の情報は必要であるため、必要不可欠な事業として実施している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・台帳の更新内容は精査しており、必要最低限なものである。 ・一般への供覧は紙媒体の道路台帳に限っているが、電子データも所有しており、効率的な運用に努めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・目標通り欠かさず台帳更新を実施している(補正路線数についてはその年の道路新設/改良数に左右されるため必ずしも予定数に達するものではない)。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	道路工事などで道路の形状変更があるたびに台帳情報の修正が必要となるが、毎年1回は必ず補正をしており、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新している。 補正する路線数についてはその年の事業内容等によるため年度によってばらつきがあるが、変更すべき箇所については漏れなく更新できている。 業者への委託により台帳を更新するが、現場の状況に沿った正確な情報に更新するためには委託の際に精度の高い情報提供が必要であるため、煩雑な事務となり担当者への負担は大きい。		
改 善 策	委託業者と綿密に打ち合わせを行い、できるだけ簡易な方法で正確に台帳情報を更新できるよう努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	道路維持管理事業							事業コード	120122					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184・186	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R4現在の状況		継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	1.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	69,281		69,065		69,517		予算編成時記入 (3次公表時)							
	② 補正予算	0		0		0									
	③ 繰越予算	0		0		0									
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0		0									
小計(①～③)		69,281		69,065		69,517									
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0									
	② 国支出金	0		1,650		0									
	③ 府支出金	0		0		0									
	④ 地方債	0		0		0									
	⑤ その他特財	69,281		67,415		69,517									
決算情報	① 流充用額	7,262		34,252											
	② 配当予算	76,543		103,317											
	③ 執行額	76,543		103,317											
	④ 執行率	100.0%		100.0%											
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	3.66	/	2.00	3.52	/	0.00	3.52	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	34,280		28,160		28,160		0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		110,823		131,477		28,160		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		103,278		実績金額	10		決算付属資料	48		頁
		放置自転車買取代			雑入		39								

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
			/		/		/		/		
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	委託件数(土砂撤去等)	箇所	54	/	100	42	/	-	61	/	-
	単位あたりコスト		1363.7		1822.5		1693.7				
	修繕件数	箇所	100	/	150	85	/	-	65	/	-
		単位あたりコスト	736.4		900.5		1589.5				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、必要不可欠な事業として実施している。 ・道路の損傷等は市民からの改善要望・苦情も多く、速やかに対応しなければ事故にも繋がおそれがあるため、市民生活の基盤を支えていく上での優先度は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・地区ごとに道路パトロールを実施し、同一地区の修繕をまとめて行うなど効率的な事業実施に努めている。 ・損傷等の具合によって職員の直営作業と業者への委託を使い分け、コスト削減に努めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・こちらで把握している要修繕箇所その他、地域からの要望や通報も受けながら順次可能な限り対応している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。市道を適正に維持管理することにより市民の安心・安全な道路交通を確保することを事業の目的としており、損傷などがあった場合には修繕等の対応を可能な限り迅速に行わなければならない。道路パトロール、各自治会、市民からの要望、通報など、様々な方法で情報収集するよう努めており、情報を得たら地区等関係なくその時に動ける職員がすぐに対応することで迅速に対応出来ている。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】 街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、街路灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹、除草等、年々樹木も大きくなり経費がかかることから維持管理できる範囲が減ってきている。		
改 善 策	限られた財源を効率的、効果的に実施していけるよう配分を行なうとともに、緊急度・優先度を考慮しながら危険箇所を優先的に実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	除雪関連事業										事業コード	120123		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備							施策コード	921				
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市地域防災計画、道路除雪計画、福知山市除雪機械等購入補助金交付要綱				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市除雪計画に沿って主要生活道路の除雪作業を行なうことにより、市民の生活道路を確保し安心・安全な生活に寄与する。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	3.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	108,357		133,012		112,264		予算編成時記入 (3次公表時)							
	② 補正予算	91,000		156,000		0									
	③ 繰越予算	0		△ 12,462		12,462									
	前年度繰越	0		0		12,462									
	次年度繰越	0		△ 12,462		0									
	小計(①～③)	199,357		276,550		124,726									
予算財源内訳	① 一般財源	91,000		155,938		62									
	② 国支出金	9,000		10,000		10,000									
	③ 府支出金	0		0		0									
	④ 地方債	29,000		62,600		67,400									
	⑤ その他特財	70,357		48,012		47,264									
決算情報	① 流充用額	△ 1,139		△ 6,375											
	② 配当予算	198,218		270,175											
	③ 執行額	159,474		270,175											
	④ 執行率	80.5%		100.0%											
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.65	/	0.00	0.66	/	0.00	0.66	/	0.00	0.00	/	0.00		
	② 概算人件費	5,200		5,280		5,280		0							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		164,674		275,455		5,280		0							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	臨時道路除雪事業補助		種類	土木費国庫補助金		実績金額	18,000		決算付属資料	20		頁	
			除雪関連事業(社会資本整備総合交付金)			土木費国庫補助金			17,440			20			
			除雪関連事業(過疎対策)			土木債			52,000			52			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	除雪・協議路線	km	265.1 /	265.1	265.1 /	265.1	251.6 /	251.6	/	251.6	251.6
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	業者出動日数	日	11 /	30	17 /	30	34 /	—	/	—	30
	単位あたりコスト		7651.8		9380.8		7946.3				
	出動業者数	者	64 /	222	205 /	222	459 /	—	/	—	222
	単位あたりコスト		1315.2		777.9		588.6				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、必要不可欠な冬季の維持管理事業として実施している。 ・除雪に対する市民からの要望・苦情は多く、速やかに対応しなければ交通機能が麻痺するため、市民生活の基盤を支えていく上での優先度は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・除雪計画に沿って積雪状況等により必要性・緊急度等を考慮し実施している。 ・細かくエリアを区切ってそれぞれ地元業者に業務を委託する等、効率的な事業実施に努めている。 ・費用については期間終了後に精査し、削減すべきところがないか検討している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・積雪や低温は的確に予想するのが困難であり、活動目標や投入資源を推定するのも困難であるが、実施が必要な際には漏れなく実施しており実績も各業者からの報告により把握している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、積雪による市民生活への影響を抑え市民生活の維持を図っている。 迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。 積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は今後も必要不可欠である。 年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】		
改 善 策	現在業務を委託している業者に引き続き受託してもらえるよう、除雪期間外に舗装路面の平滑化(突起物をなくすこと)や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行い、除雪実施業者の負担軽減に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	道路パトロール車更新事業							事業コード	120187		
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標 2 産業基盤の整備						
	施 策 名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備		施策コード		921						
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課				所 属 長	清水 俊行				
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-			R4現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	道路パトロール車を新車両に更新し、作業員の安全確保及び作業効率の向上を図り、適切に道路の維持管理(以上の早期発見・早期改修)を行う。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0		6,056		0		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0				
小計(①～③)		0		6,056		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0				
	⑤ その他特財	0		6,056		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 345						
	② 配当予算	0		5,711						
	③ 執行額	0		5,711						
	④ 執行率	0.0%		100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.08	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		640		0		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		6,351		0		0		
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	更新台数	台	- / -	- / -	1 / 1	/ -	1
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	更新台数	台	- / -	- / -	1 / 1	/ -	1
	単位あたりコスト				5711.0		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、維持管理のための道路パトロールは必要不可欠な事業であり、パトロールのために必要な車両を適切に更新することも同じく必要不可欠である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・道路パトロール車の選定においては必要となる機能のみを搭載しているものを選んでおり、また、購入についても入札を実施したため可能な限りコスト削減できていると考える。 ・道路パトロール車を購入し、常時道路パトロールを行うことで、道路状態の悪化を早期発見し、放置していれば後々大きな改修が必要となるものを未然に低コストで処理できるようになる。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・予定していた通りに車両を更新した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年3月に新車両が納車され、更新を完了した。 車両の機能面もこれまでの車両において不便だった部分を改めており、今後はこれまでより効率的に道路パトロール業務を行えると考えている。		
改 善 策	特になし。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	道路橋りょう一般管理事業										事業コード	120203				
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標 2 産業基盤の整備										
	施 策 名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード		921								
事業担当	所 属		35020000 建設交通部 道路河川課						所 属 長		清水 俊行					
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		会計	01 一般会計		決算付属資料	186	頁	
計画期間	開始年度		昭和63年度		終了予定年度		令和8年度		関連計画名			ー			R4現在の状況	継続中
根拠法令等																
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	道路・橋りょうを適切に維持管理し安全性を高めることで、安全・安心のまちづくりの推進を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	14,709		7,509		22,194		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		14,709		7,509		22,194						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	14,709		7,509		22,194						
決算情報	① 流充用額	△ 778		943								
	② 配当予算	13,931		8,452								
	③ 執行額	13,931		8,452								
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07	/	0.00	0.09	/	0.00	0.09	/	0.00		
	② 概算人件費	560		720		720		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,491		9,172		720		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		8,452		決算付属資料	10	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	執行額	千円	- / -	- / -	8452 / -	- / -	-
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	講習会等参加	回	2 / 2	0 / 2	0 / 2	- / 2	-
	単位あたりコスト		7907.9				
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市道の維持管理は道路管理者である市しか実施し得ず、道路管理者として道路、橋りょうの利用者の安全な通行を確保するために必要不可欠な維持管理事業として街路灯の維持管理を実施している。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・街路灯にかかる電気代は年々微増傾向にあったが、光熱水費の削減を図るため、電気代のコスト削減が図れ、かつ耐用年数の高いLED灯への更新を実施した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・街路灯の更新前後で電気料金は50%以上削減できており、かつ従来の灯具よりも長寿命であるため維持管理経費も削減できると見込まれ、有効性は高いと考える。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	道路・橋りょうの利用者のために街路灯を設置しているものであり、利用者の安全確保のために必要不可欠な事業である。市域にはかなり多くの街路灯があり、維持管理にかかる費用は年々増加傾向にあったことから、コスト削減を図るためにLEDへの更新を実施した。これにより今後は電気料金の削減が見込める。例年参加している道路・橋りょう維持管理に関する講習会等への参加については、新型コロナウイルス感染症の影響により講習会の開催がなくなり参加していない。 維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】		
改 善 策	今後も適正に維持管理し、管理不足による不要な修繕等が発生しないよう努める。 講習会については開催されるようになれば適宜参加し、職員の知識の研鑽に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	交通安全対策整備事業										事業コード	120208			
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標 2 産業基盤の整備									
	施 策 名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード		921							
事業担当	所 属		35020000 建設交通部 道路河川課					所 属 長		川 島 奈 都 代					
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計		決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度		昭和63年度		終了予定年度		令和8年度		関連計画名 福知山市通学路交通安全プログラム				R4現在の状況		継続中
根拠法令等															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市道の道路管理者として適切な交通安全対策を実施し、予測できる危険の軽減をはかり、通行する人や車両の安全を確保する。 市内の学校の通学路についても対策を実施していくことで通学中の児童・生徒などの安全性を高めるとともに、保護者や地域住民の不安を軽減する。 高齢者や障がいのある人、子どもなど誰にでも安全でやさしい交通施設の整備を促進する。				
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	31,800		31,100		38,400		予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		31,800		31,100		38,400						
予算財源内訳	① 一般財源	30,000		29,000		38,400						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0						
	④ 地方債	1,800		2,100		0						
	⑤ その他特財	0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	31,800		31,100								
	③ 執行額	31,572		30,428								
	④ 執行率	99.3%		97.8%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.41	/	0.00	0.54	/	0.00	0.54	/	0.00		
	② 概算人件費	3,280		4,320		4,320		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		34,852		34,748		4,320		0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	交通安全対策整備事業(地域活性化)		種類	土木債		500		決算付属資料	52	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	改良箇所数	箇所	50	/	40	31	/	50	48	/	50
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	工事件数	工事	4	/	6	4	/	10	4	/	4
		単位あたりコスト	6105.9		7893.0		7607.0				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市道管理者として、市道の危険箇所等の交通安全対策を実施し、事故防止、交通の円滑化を図る必要がある。 ・通学路についても、通学中の児童・生徒等の安全性を高めることは必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・地元、学校、PTAなどから交通安全対策に関する要望が数多くあるなかで、緊急度、優先度を見極めながら実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・適切に交通環境の改善を行うことで、交通事故防止、交通の円滑化が図れる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	めまぐるしく変化する道路交通状況のなか、交通安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危険の軽減を図り、通行する人や車両の安全の確保に努めている。とくに通学路については福知山市通学路安全推進会議で策定された福知山市交通安全プログラムに基づき、道路管理者として市道における通学路の危険箇所の安全対策を進めている。 通学路を含めた市道の交通安全対策を進めていくが、地元、学校、PTAなどからの交通安全対策に関する要望に応える必要がある。通学路についても、福知山市交通安全プログラムに基づき、実施可能分について順に実施していく必要がある。 本事業の交通安全対策にかかる分については交通安全対策交付金見合いで実施しているため、事業費確保に影響がある。		
改 善 策	数多くある要望に対し、特に通学路等については教育委員会等の関連部署と連携を取りながら、緊急度・優先度などを見極めて実施箇所を検討していく。 財源に限りがあるため、通学路緊急対策の個別補助対象となる路線があれば、そちらの補助を活用しての実施も検討していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	緊急安全対策整備事業							事業コード	120210						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備							
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921						
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	川島 奈都代							
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計		決算付属資料	186	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	ー					R4現在の状況		継続中		
根拠法令等															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市道の安全対策を実施することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		47,000		50,000		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	50,000		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
	小計(①～③)	50,000		47,000		50,000								
予算財源内訳	① 一般財源	0		47,000		50,000								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	50,000		0		0								
決算情報	① 流充用額	1,432		0										
	② 配当予算	51,432		47,000										
	③ 執行額	51,329		46,994										
	④ 執行率	99.8%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.12	/	0.00	0.75	/	0.00	0.75	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	960		6,000		6,000		6,000		0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		52,289		52,994		6,000		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算付属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
			/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	自治会要望対応工事	件	/	155 / 150	106 / 150	/ 150	—
	単位あたりコスト			331.2	443.3		
			/	/	/	/	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・地元のニーズに応える事業であり、市民の安心・安全の確保のため必要なものである。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・要望箇所は多いが、危険度などから優先順位を判断し、効率的に進めている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・要望に応じて目標を設定しており、見込み通りに実施できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	工事実施数＝地元要望に応えた数であり、見込み通りに実施できている。 危険箇所等を改修することで市民の安心・安全の確保につながっているが、要望箇所数は多く、全ての要望には応えられていない。		
改 善 策	一度に全ての要望に応えることは困難なため、一定の予算を確保しながら継続的に事業を実施していく。 要望箇所をしっかりと把握した上で、効率的な事業実施に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	辺地対策事業							事業コード	120307						
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標 2 産業基盤の整備										
	施 策 名		1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード		921					
事業担当	所 属		35020000 建設交通部 道路河川課				所 属 長		川 島 奈 都 代						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁	
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名			辺地計画			R4現在の状況		継続中
根拠法令等															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、ほかの地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島その他のへんびな地域である辺地地域における交通基盤を確保するとともに、地域の活性化を図る。				
対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,000		5,000		20,000		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	5,000		5,000		20,000							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	5,000		5,000		20,000							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	△ 190		0									
	② 配当予算	4,810		5,000									
	③ 執行額	4,645		4,629									
	④ 執行率	96.6%		92.6%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.28	/	0.00	0.13	/	0.00	0.13	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	2,240		1,040		1,040		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,885		5,669		1,040		0					
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	辺地対策事業(辺地対策)		種類	土木債	実績金額	4,600	決算付属資料	52	頁		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	1	/	1	1	/	1	/	2	-
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	工事実施路線	路線	1	/	1	1	/	1	/	2	-
		単位あたりコスト	4724.5		4645.0		4629.0				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・辺地地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するため、必要な事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・有利な財源である辺地対策債を活用し、辺地計画に基づいて事業実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・辺地地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性の向上が図れる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本市における辺地地域において、辺地対策事業の対象自治会からの要望に対し、辺地計画に基づき辺地対策債という有利な財源を活用しながら計画的に市道の道路舗装改良を実施しており、快適な生活環境の確保や辺地地域の活力の創造に資することができている。		
改 善 策	今後も有利な財源である辺地対策債を活用して計画的に事業実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	防衛施設周辺整備事業							事業コード	120312		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	ー			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	防衛施設周辺の道路整備を行うことにより、安全な車輛経路の確保及び周辺住民の民生安定化を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	28,286		21,837		46,503		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		28,286		21,837		46,503								
予算財源内訳	① 一般財源	7,549		5,734		12,994								
	② 国支出金	20,737		16,103		33,509								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		300										
	② 配当予算	28,286		22,137										
	③ 執行額	26,998		21,837										
	④ 執行率	95.4%		98.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.48	/	0.00	0.38	/	0.00	0.38	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,840		3,040		3,040		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		30,838		24,877		3,040		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	防衛施設周辺整備事業(道路改修等事業費補助金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	16,103		決算付属資料	20		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	適切な道路改良の実施	線	3	/	3	1	/	3	1	/	2	3
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	工事実施路線	線	3	/	3	1	/	3	1	/	2	3
		単位あたりコスト	8309.9		26998.0		21837.0					
			/		/		/		/			
		単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・当路線は、周辺住民にとって主要な生活道路であるが、部分的に現道の幅員は狭小であり、緊急車両との離合は危険な状態であるため、道路整備が必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・地域住民の生活の安全確保のために必要な整備について、補助率(70%)が良い防衛補助金を活用することでコストを抑えながら効率的に実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・事業実施することにより、バス及び緊急車両と一般車両の安全な離合が可能となり、利便性と安全性が向上し、駐屯地周辺の民生安定が図れる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	有利な財源である防衛省の補助金を活用し、必要な整備を効率よく実施できている。防衛施設周辺整備事業については、市道室3号線をもって一旦終了することとなる。		
改 善 策	今後は、防衛施設との因果関係を明確にし、新たな事業箇所の検討、選定を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

事業名	道路改良事業										事業コード	120313			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課							所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計		決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	ー			R4現在の状況		継続中		
根拠法令等															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()														
関連事業															

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	13,000		69,000		65,000		予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	53,000		0		0				
	③ 繰越予算	△ 24,929		△ 11,071		36,000				
	前年度繰越	0		24,929		36,000				
	次年度繰越	△ 24,929		△ 36,000		0				
小計(①～③)		41,071		57,929		101,000				
予算財源内訳	① 一般財源	16,031		14,909		19,340				
	② 国支出金	0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0				
	④ 地方債	24,900		42,900		81,300				
	⑤ その他特財	140		120		360				
決算情報	① 流充用額	△ 2,222		0						
	② 配当予算	38,849		57,929						
	③ 執行額	38,847		51,679						
	④ 執行率	100.0%		89.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.33	/	0.00	0.89	/	0.00	0.89	/	0.00
	② 概算人件費	2,640		7,120		7,120		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		41,487		58,799		7,120		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	道路改良事業(長寿命化)		種類	土木債	実績金額	17,500	決算付属資料	52	頁
		道路改良事業(緊急自然災害防止対策)(繰越明許費分)			土木債		18,900		52	

29

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・住民のニーズに応じた事業である。 ・道路の拡幅改良等により、緊急自動車の通行や沿道住民及び市民生活及び安全性の向上を確保するものである。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・地元要望路線について必要性、緊急性、経済効果などを考慮し適正な事業実施を行なっている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・住民のニーズに応えとともに、改良による市民生活及び安全性の向上の観点から、有効性は増加している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地元の要望に応えながら、市民生活の利便性や安全性の向上を図っている。道路改良に対する地元からの要望は多いため、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定し実施しているが、全ての要望に応えられていないのが現状である。		
改 善 策	施工路線については精査し、優先度をつけて計画的に実施していく。 また、社会資本整備総合交付金など、交付金が活用できるものは活用を検討する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	過疎対策事業							事業コード	120315		
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標 2 産業基盤の整備						
	施策名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード		921				
事業担当	所属 35020000 建設交通部 道路河川課				所属長 川島 奈都代						
会計情報	款 08 土木費	項 02 道路橋りょう費	目 03 道路新設改良費		会計 01 一般会計		決算付属資料		188	頁	
計画期間	開始年度 平成22年度	終了予定年度 令和8年度	関連計画名 過疎計画				R4現在の状況		継続中		
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	過疎地域における交通基盤を確保し、過疎地域の活性化を図る。 安心安全な道路交通を確保することにより、過疎地域における市民生活の向上を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.8
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	55,300		102,084		79,407		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		△ 18,600		0					
	③ 繰越予算	△ 780		△ 25,204		33,204					
	前年度繰越	7,220		8,000		33,204					
	次年度繰越	△ 8,000		△ 33,204		0					
小計(①～③)		54,520		58,280		112,611					
予算財源内訳	① 一般財源	20		80		11					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	54,500		58,200		112,600					
	⑤ その他特財	0		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 3,166		0							
	② 配当予算	51,354		58,280							
	③ 執行額	51,040		54,030							
	④ 執行率	99.4%		92.7%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.48	/	0.00	0.43	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,840		3,440		3,440		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		54,880		57,470		3,440		0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	過疎対策事業(過疎対策)		種類	土木債	50,200		決算付属資料	52	頁
			過疎対策事業(過疎対策)(繰越明許費分)			土木債	3,700			52	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	適切な道路改良の実施	線	1	/	2	4	/	4	5	/	5
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	工事実施路線	線	1	/	2	4	/	4	5	/	5
		単位あたりコスト	23094.4		12760.0		10806.0				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・過疎地域における生活道路の老朽化及び不便さを解消し、良好な交通基盤を確保するために必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・過疎計画に基づき、有利な財源である過疎対策債を活用しながら事業実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・過疎地域の住民ニーズに応えるとともに、市道改良により市民生活の向上と安全性が図られる。辺地地域の活性化に寄与することで有効性は増加している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本市における過疎地域において、対象自治会からの要望に対して、過疎計画に基づき過疎対策債という有利な財源を活用し、計画的に市道の道路舗装改良等を実施しており、快適な生活環境の確保や過疎地域の活力の創造に資することができている。現計画は令和3年度から始まっているが、自治会からの要望全てに応えられているわけではない。		
改 善 策	今後有利な財源を活用しながら効果的に事業実施していく。 以前の過疎計画から継続となっている路線等については、重点的に整備する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	広域交通網整備促進事業							事業コード	120333					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備							
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代							
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況			継続中		
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	国道9号及び駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行ない、市街地の交通体系の充実を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,600		4,700		0		予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0		0		0					
	③ 繰越予算	0		△ 3,373		3,373					
	前年度繰越	0		0		3,373					
	次年度繰越	0		△ 3,373		0					
小計(①～③)		2,600		1,327		3,373					
予算財源内訳	① 一般財源	2,600		1,327		3,373					
	② 国支出金	0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 1,741		△ 300							
	② 配当予算	859		1,027							
	③ 執行額	745		1,026							
	④ 執行率	86.7%		99.9%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	1,280		1,840		1,840		0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,025		2,866		1,840		0			
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	1	/	2	1	/	1	/	0	2
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	工事実施路線	路線	1	/	2	1	/	1	/	0	2
		単位あたりコスト	8362.2		745.0		1026.0				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・駅南地域や国道429号及び国道9号沿線周辺における交通混雑を解消するため道路網の整備は必要。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・合併特例期間において、充当率の高い合併特例債を活用して計画通りに効率よく事業実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・広域交通網として、道路網を整備することは市民生活の利便性の向上が図れる。 ・アクセス性の向上が図れることから、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	本事業により、国道9号及び駅南地域など市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑の解消、市街地周辺とのアクセス性の向上を図るとともに、住民交流や観光施設への利用の活性化、さらには、緊急避難路として位置付けることで安全で円滑な交通体系の充実化も図っている。すでに完成した路線もあり、その事業効果については今後検証していく必要がある。公図と現況が合致していないところもあり用地買収などに時間を要している		
改 善 策	用地買収が整ったところから工事を進めるなど、全体工程を圧縮する方向で事業を進めていく。 これまでに完了した路線に続き、福知山停車場奥榎原線についても早期の全線開通を目指して事業を継続していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)										事業コード	120336		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921			
事業担当	所 属	35020000 建設交通部 道路河川課					所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	社会資本総合整備計画					R4現在の状況	継続中
根拠法令等														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	府が設定する社会資本整備計画である「丹後・中丹地域の観光と産業の振興を支援する交通基盤施設の整備と安心安全なまちづくり」に関連した整備により、道路新設改良を行なう。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	3.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	330,000		189,368		107,018		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	19,281		26,464		0							
	③ 繰越予算	95,100		63,902		136,015							
	前年度繰越	295,017		199,917		136,015							
	次年度繰越	△ 199,917		△ 136,015		0							
小計(①～③)		444,381		279,734		243,033							
予算財源内訳	① 一般財源	16,911		22,838		39,262							
	② 国支出金	242,170		145,196		115,871							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	185,300		111,700		87,900							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	94		△ 6,697									
	② 配当予算	444,475		273,037									
	③ 執行額	443,203		271,245									
	④ 執行率	99.7%		99.3%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.83	/	0.00	1.45	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	14,640		11,600		11,600		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		457,843		282,845		11,600		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	社会資本整備総合交付金事業(社会資本整備総合交付金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	38,241		決算付属資料	20	頁
			社会資本整備総合交付金事業(道路整備)(繰越明許費分)			土木費国庫補助金			109,954			20	
			社会資本整備総合交付金事業(道路整備) (防災・減災・国土強靱化緊急対策)(繰越明許費分)			土木債			26,700			52	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	適切な道路改良の実施	路線	4	/	6	1	/	3	4	/	4
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	工事実施路線	路線	4	/	6	1	/	3	4	/	4
		単位あたりコスト	133278.7		443203.0		67811.3				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・安心・安全なまちづくりに関連した道路整備を行うことで、利用者、沿線住民の安全確保、利便性の向上を図る。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・国の交付金である社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に事業実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・道路を整備することにより、市民生活の安全性の向上を図るとともに、生活環境の整備が行なわれる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であり、事業実施することで利用者、沿線住民の安全を確保するとともに、利便性の向上、観光及び産業の振興を図っている。幹線道路などにおいて新設改良を計画的に実施している。		
改 善 策	通学路等の交通安全対策の推進や、道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進に対する交付金制度を活用するなかで、安心安全な道路網の整備や道路状況を保持していくためには、本事業として効果は大きく、今後についても継続していく。国の交付金を活用して事業を実施するが、国からの交付金については、全国的に要望が多いことから本市の要望どおりに予算確保ができないことが課題である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備)										事業コード	120353							
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標 2 産業基盤の整備													
	施 策 名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード		921											
事業担当	所 属		35020000 建設交通部 道路河川課					所 属 長		川 島 奈 都 代									
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計		決算付属資料	188		頁			
計画期間	開始年度		平成28年度		終了予定年度		令和8年度		関連計画名		『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画(地域再生計画)』					R4現在の状況		継続中	
根拠法令等																			
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (																		

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図る。					
対象者	全市民		対象者数	76,037	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,000		137,900		45,000		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	39,000		0		0								
	③ 繰越予算	△ 7,304		△ 41,846		67,224								
	前年度繰越	18,074		25,378		67,224								
	次年度繰越	△ 25,378		△ 67,224		0								
小計(①～③)		38,696		96,054		112,224								
予算財源内訳	① 一般財源	2,393		5,135		5,954								
	② 国支出金	18,803		47,919		55,970								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	17,500		43,000		50,300								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	500		0										
	② 配当予算	39,196		96,054										
	③ 執行額	39,006		95,628										
	④ 執行率	99.5%		99.6%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.77	/	0.00	0.78	/	0.00	0.78	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	6,160		6,240		6,240		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		45,166		101,868		6,240		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備) (地方創生道整備交付金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	35,334		決算付属資料	20		頁
			地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備) (地方創生道整備交付金)(繰越明許費分)			土木費国庫補助金			12,438			20		
			地域間交流促進ネットワーク事業(市道整備) (公共事業等)(繰越明許費分)			土木債			11,200			52		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	適切な道路改良の実施	路線	2	/	8	0	/	8	1	/	4	8
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標	
	工事実施路線	路線	4	/	4	3	/	1	4	/	4	8
	単位あたりコスト		37874.6		13002.0		23907.0					
	単位あたりコスト		/		/		/		/			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・地方再生、定住化を進めていくためには、道路などの社会インフラが整っていることが基本であり、道路整備は必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・本来ならば市単費で行わざるを得ない市道の道路改良について、国庫支出金を活用することで大幅にコストを削減した上で実施することが出来る。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・地域再生計画に市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け整備を行なうことは有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』を策定した。この地域再生計画に、市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置付け、計画的に事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与できる。		
改 善 策	地域再生計画では、少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としているが、事業計画に基づき市道を整備することで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果が見えるようにしていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	橋りょう長寿命化対策事業						事業コード	120324			
政策体系	基本政策 9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標 2 産業基盤の整備						
	施策名 1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード 921						
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	04 橋りょう維持費	会計	01 一般会計	決算付属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	道路法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	橋りょうの定期的な修繕計画である長寿命化計画の策定を行い、予防的な修繕及び計画的な架け替えを行う。					
対象者	全市民(橋りょう利用者)		対象者数	76,037	単位あたりコスト	2.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

Ⅲ 予算執行状況														
区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	8,500		117,000		212,890		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	107,000		60,400		0								
	③ 繰越予算	△ 52,080		△ 34,495		114,075								
	前年度繰越	27,500		79,580		114,075								
	次年度繰越	△ 79,580		△ 114,075		0								
小計(①～③)		63,420		142,905		326,965								
予算財源内訳	① 一般財源	15,932		2,902		2,639								
	② 国支出金	34,188		77,427		176,877								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	13,300		36,300		100,300								
	⑤ その他特財	0		26,276		47,149								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	63,420		142,905										
	③ 執行額	63,100		142,576										
	④ 執行率	99.5%		99.8%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.66	/	0.00	1.88	/	0.00	1.88	/	0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	5,280		15,040		15,040		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		68,380		157,616		15,040		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	橋りょう長寿命化対策事業(道路メンテナンス事業補助)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	35,633		決算付属資料	20		頁
			橋りょう長寿命化対策事業 (社会資本整備総合交付金)(繰越明許費分)			土木費国庫補助金			42,719			20		
			橋りょう長寿命化対策事業(企業版ふるさと納税寄附金)			土木費指定寄附金			1,500			36		

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	費用対効果の高い橋りょう点検実施数	橋	269	/ 1081	220	/ 1081	230	/ 256	/	259	1081
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	橋りょう点検実施数	橋	269	/ 1081	220	/ 1081	230	/ 256	/	259	1081
	単位あたりコスト		129.1		286.8		619.9				
			/		/		/		/		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	・橋りょう施設を長く良好な状態で維持していくことは、市民、利用者の安心安全 な通行に必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	・国の補助金である道路メンテナンス補助金を活用し、工法選定や見積徴収等コ スト削減を意識し、橋梁長寿命化計画に基づき事業実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	・施設の維持管理費の縮減を図ることができる。 ・道路橋の安全性、信頼性を確保することができる。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	平成26年7月より、5年に1度の近接目視点検を行ない、現在2巡目の点検を実施しており、点検結果により長寿命化計画を策定して維持管理を実施 している。 健全度を4段階で評価しており、市内の橋りょうについては現在の状況を踏まえた上での維持管理を行えている。 評価の悪かった(Ⅲ判定)橋りょうについて、順次補修工事を実施している。 5年に1度の点検が必要であり、限られた期間で、1,000橋を超える数の橋梁の点検を完了していかなければならないため、計画的に進めていく必要 がある。		
改 善 策	執行にかかる予算、財源についても実施内容を精査した上で確保していく。 職員による点検を実施するための技能取得や、集約できる橋りょうの整理も必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	駅周辺公共施設管理事業							事業コード	110184					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所 属	35050000 建設交通部 都市・交通課					所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名							R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市自転車等駐車場条例 等													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山駅を利用する通勤者・通学者、福知山駅周辺への買い物客、福知山駅への送迎者の利便性を向上させるとともに、不法駐輪及び不法駐車を抑止し、歩行者等の安全確保、良好な都市空間の形成を図る。					
対象者	市民		対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	36,189		36,081		36,115		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		36,189		36,081		36,115							
予算財源内訳	① 一般財源	14,484		13,608		16,323							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	21,705		22,473		19,792							
決算情報	① 流充用額	△ 209		0									
	② 配当予算	35,980		36,081									
	③ 執行額	35,738		35,874									
	④ 執行率	99.3%		99.4%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35	/	0.00	0.32	/	0.00	0.00	/	0.00			
	② 概算人件費	2,800		2,560		2,560		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		38,538		38,434		2,560		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	駅北口駐車場料金		種類	土木使用料		実績金額	2,860		決算付属資料	10	頁
			駅東駐輪場料金			土木使用料			12,018			10	
			駅西駐輪場料金			土木使用料			1,208			10	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	実質赤字額(使用料収入額-執行額)	千円	-13026	/	0	-18579	/	0	-17353	/	0
	駐輪場稼働率	%	83	/	100	79.9	/	100	83.6	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	駐輪場使用料	千円	13935	/	22369	12038	/	22369	13226	/	22369
	単位あたりコスト		2.9		3.0		2.7				
	駐輪場総利用台数	台	288644	/	356970	285105	/	356970	298452	/	356970
		単位あたりコスト	0.1		0.1		0.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山市の玄関口である福知山駅の利用者及び駅前の商業施設等の利便性向上に必要であり、特に駐輪場については、定期利用されている通勤・通学者に対して必要不可欠となっている。 令和3年度においては、駐輪場利用者に対してアンケート調査を実施することで、駐輪場施設内の環境整備等に役立てた。 福知山駅周辺施設利用者からの要望に基づき修繕業務を実施し、気持ちよく施設を利用していただけるよう努めた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	指定管理者公募時の内容及びその後の第三者評価委員会に基づき指定管理業務を発注しており、コスト削減ができている。 民間事業者のノウハウを用いて駐輪場等の運営を行っており、効率的かつコスト削減を図りながら事業を実施できている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	駐輪場・駐車場の利用者増加のため、指定管理業務において草刈やごみ拾いの実施や、学校への定期券制度の案内を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	駅ロータリー内の道路標示修繕や新貨幣への対応に伴う精算機部品交換を行うことで、駅周辺施設の利用者の満足度向上を図ることができた。 このうち、令和3年度においてはロータリー内の道路標示の修繕に代表されるように、クレームが起こってから事後対応となることが課題となっている。 また、令和3年度においても指定管理者により主要な学校への施設案内を行っており、定期利用者の増加につながっている一方で、駐輪場内での放置自転車の増加による環境悪化・駐輪スペースの占拠の解消が課題となる。		
改 善 策	指定管理者との連携を密にし、利用者の不満がクレームとして顕在化しないうちに対応できるようにする。 また、放置自転車についてはその多くが学生のものであることから、周辺の学校とも連絡を取り合い、指定管理者を含めた放置自転車の引き取りに対する体制づくりを行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業							事業コード	110154		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	192	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てを行い、鉄道網整備事業及び鉄道網整備に関連する都市計画事業の促進を図る原資とする ことを目的とする。また、基金に積み立てて生じる運用利子を得ることで、原資を効率的に増やし、その事業を充実させる。				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	35,007		30,985		40,224		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
	小計(①～③)	35,007		30,985		40,224							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	35,007		30,985		40,224							
決算情報	① 流充用額	△ 7,975		0									
	② 配当予算	27,032		30,985									
	③ 執行額	24,977		23,006									
	④ 執行率	92.4%		74.2%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	400		400		400		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,377		23,406		400		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	土地貸付収入(都市・交通課)		種類	財産貸付収入		23,006		決算付属資料	32		頁
						実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	基金積立残高	百万円	357	/	500	380	/	500	323	/	500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	定期借地契約件数	件	2	/	2	2	/	2	2	/	2
	単位あたりコスト		24580.0		12488.5		11503.0				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業の進捗に向けた財源を確保するため、事業用定期借地契約による収入を積み立てた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業用定期借地契約による収入について、一般財源でなく基金への積立を行うことで、効率的に積立額を増額した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	石原土地区画整理事業保留地価格改定に伴う差額分の財源とすることで、積立金を有効に活用した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	事業用定期借地契約による安定的な収入について、一般財源とするのではなく基金に積み立てて効率的に運用することで、石原土地区画整理事業の早期完了に向け、財源を確保することができた。		
改 善 策	普通財産土地売却収入が減少する見込みの中で、都市基盤整備後の各施設の経年劣化や新たな整備事業に対応できるよう、積み立てに係る不動産収入の確保に努める必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	街路事業(篠尾線 篠尾工区)								事業コード	120332					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備							
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備							施策コード	921					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課					所属長	芦田 裕人							
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	03 街路事業費		会計	01 一般会計		決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和4年度		関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン				R4現在の状況		継続中	
根拠法令等	都市計画法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	篠尾線概成区間から国道9号までの区間(210m)を整備することで、通学路の安全確保のみならず、農免道路を経由した道路網を構築し、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	58,000		88,581		86,602		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	△ 55,266		△ 20,000		0								
	③ 繰越予算	0		△ 19,147		19,147								
	前年度繰越	0		0		19,147								
	次年度繰越	0		△ 19,147		0								
小計(①～③)		2,734		49,434		105,749								
予算財源内訳	① 一般財源	1,708		5,933		18,205								
	② 国支出金	626		25,101		50,444								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	400		18,400		37,100								
	⑤ その他特財	0		0		0								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	2,734		49,434										
	③ 執行額	1,745		47,551										
	④ 執行率	63.8%		96.2%										
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35	/	0.00	0.35	/	0.00	0.35	/	0.00	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	2,800		2,800		2,800		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,545		50,351		2,800		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	街路事業(篠尾線篠尾工区)(防災・安全交付金)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	25,100		決算付属資料	20		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	都市計画道路進捗率	%	69.49	/	69.49	69.43	/	69.43	69.43	/	69.43
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	補助対象事業費ベースによる進捗率	%	2	/	100	2	/	100	13	/	100
	単位あたりコスト		5852.9		872.5		3657.8				
			/		/		/		/		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	地元自治会からの要望により、都市計画道路篠尾線の実現に向けて事業を進めており、建物の移転を伴う土地の買収を行うことで、本事業の進捗に努めた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	業務の発注にあたっては、競争入札により価格競争を行っており、コスト削減を図ることができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	都市計画道路の工事着手に向けて、建物の移転を伴う土地の買収を行ったほか、事業用地の寄附を受けることで、事業進捗を図ることができた。これにより、都市計画道路の整備進捗率増加に向けて事業を進めることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和3年度においては、事業用地内の地権者と土地売買及び建物移転補償契約を締結し、また次年度以降補償予定の土地・建物について調査等を行った。 都市計画道路の工事着手には至らないものの、事業用地の確保に向けて進めることができており、事業費ベースでの進捗を図ることができた。 令和3年度は都市計画道路本線に係る用地買収等の執行となっており、今後は取付道路も視野に入れて地元同意を得る必要がある。		
改 善 策	地元自治会や関係機関と協議を行い、取り付け道路を含めて地元同意を得る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	街路事業(福知山綾部線)					事業コード	120344				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン			R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	都市計画法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市計画道路福知山綾部線は、第2次緊急輸送道路にも指定されている防災上重要な道路であるが、土地内の一部の歩道や、石原土地区画整理事業地内より東側の興・観音寺地内が未整備であるため、京都府と連携しながら道路整備の進捗を図る。										
対象者	市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (負担金支出)										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	都市計画道路福知山綾部線の整備に向けて、市実施区間(興工区)と京都府実施区間(土工区)それぞれについて必要経費を支出する。 ・土工区道路整備(京都府実施)にかかる市町村負担金の支出 ・都市計画道路沿線自治会や関係機関との協議の実施(随時)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	2,700		令和3年度京都府施行都市計画事業に係る市町村負担金							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0		22,837		30,962		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		△ 4,050		0							
	③ 繰越予算	0		△ 16,000		16,000							
	前年度繰越	0		0		16,000							
	次年度繰越	0		△ 16,000		0							
小計(①～③)		0		2,787		46,962							
予算財源内訳	① 一般財源	0		387		20,112							
	② 国支出金	0		0		13,750							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		2,400		13,100							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	0		2,787									
	③ 執行額	0		2,700									
	④ 執行率	0.0%		96.9%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.30	/	0.00	0.30	/	0.00	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	0		2,400		2,400		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		5,100		2,400		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	都市計画道路進捗率	%	0 / 0	0 / 0	69.43 / 70.34	/ 70.34	70.34
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	補助対象事業費ベースによる進捗率	%	0 / 0	0 / 0	0 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト						
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	都市計画道路沿線自治会より、本都市計画道路の整備を頻繁に要望されていることから、周辺住民の関心は高く、この実現に向けて関係機関等との打合せを重ねることで、事業の進捗に努めることができた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	令和3年度執行額においては、地方財政法施行令等に基づき、必要な額に対して必要な割合で負担している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	現状の既存道路において、歩道未整備区間や幅員狭小区間があり、歩行者の安全確保が求められていることから、通学路の安全確保を行うことにより課題を解消することができる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	関係自治会や京都府等と協議を重ねることで、都市計画道路の整備に向けて進捗を図った。今後は、地元自治会に対して都市計画道路整備後の排水経路といったより詳細な計画を提示し、地元合意を得ていく必要がある。		
改 善 策	概略設計業務に加えて道路詳細設計業務により排水経路を含めた詳細な計画図を作成し、関係自治会や京都府等と協議を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	都市計画事業用地管理事業							事業コード	510116		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所 属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算付属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市計画事業用地として、将来の都市計画道路用地等として活用するために維持管理を行う。					
対象者	管理地内の自治会(興、土師町、長田北、南本堀)		対象者数	1,205	単位あたりコスト	1.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	338		642		1,432		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		338		642		1,432								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		753								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	338		642		679								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	338		642										
	③ 執行額	300		547										
	④ 執行率	88.8%		85.2%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15	/	0.00	0.15	/	0.00	0.15	/	0.00				
	② 概算人件費	1,200		1,200		1,200		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,500		1,747		1,200		0						
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	街路事業用地貸付収入		種類	財産貸付収入		実績金額	547		決算付属資料	32		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	貸付面積	㎡	2066.45	/ 2066.45	2066.45	/ 2066.5	619.38	/ 619.38	619.38	/ 619.38	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	除草面積	㎡	3346	/ 0	6555	/ 6555	6891	/ 8903	8903	/ 8903	0
	単位あたりコスト		0.1		0.1		0.1				
			/		/		/		/		
	単位あたりコスト										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	地元農区や隣接地権者からの要望をもとに、除草業務等の土地の維持管理に必要な業務を実施することができた。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	委託業務の発注においては価格競争をおこなっており、コストの削減に努めた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	事業化の見込が少ない都市計画事業用地について、申出のあった土地については貸付を行った。 除草面積については、当該土地の周辺状況等や雑草の繁茂状況に鑑みて除草を行ったため、当初見込みに対して除草面積が減少した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	都市計画事業用地の貸付により、除草にかかる費用負担の軽減に努めることができた。 除草対象土地の繁茂状況に基づいて適切に除草時期を調整したほか、除草面積についても都度検討しながら、支出金額の抑制に努めた。 都市計画事業用地(公社継承土地等)は、事業化もしくは路線が廃止されない限り売却等の処分ができない性質があるため、維持管理のコストが発生する。		
改 善 策	事業化の優先度が低い都市計画事業用地については普通財産とし、申し出があった箇所については積極的に貸付を行うことで維持管理費用を捻出する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	用地一般管理事業					事業コード	120205				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備				施策コード	921				
事業担当	所属	35070000 建設交通部 用地課				所属長	貴田 直子				
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・道路事業をはじめとする公共事業の促進を図るため、用地買収事務や物件補償事務を適正に執行し、道路等の適切な維持管理を図る。										
対象者	用地買収等対象土地所有者				対象者数	6		単位あたりコスト	3,278.7		
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・用地買収や物件補償等を適切に執行するための事務経費										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	旅費			2 用地対策連絡協議会研修会参加等							
	需用費	532		事務用品購入・書籍購入・追録図書費用							
	役務費	155		郵送料							
	負担金補助及び交付金	8		京都府用地対策連絡協議会分担金							

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	972		930		921		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
		前年度繰越	0		0		0						
		次年度繰越	0		0		0						
	小計(①～③)	972		930		921							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	972		930		921							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		0							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	972		930									
	③ 執行額	709		697									
	④ 執行率	72.9%		74.9%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.55	/	2.18	1.70	/	2.15	1.70	/	2.15	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	17,850		18,975		18,975		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		18,559		19,672		18,975		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	国道9号用地事務費		種類	土木費国庫委託金		実績金額	697		決算付属資料	22		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	必要面積の取得率	%	100	/	100	100	/	100	100	/	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	用地契約筆数	筆	46	/	46	33	/	33	6	/	20
	単位あたりコスト		20.1		21.5		116.2				
	用地取得面積	m ²	26,814.78	/	26,814.78	10,771.14	/	10,771.14	133.76	/	3,000
	単位あたりコスト				0.1		5.2				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・道路改良事業や河川整備事業等の事業実施に伴い、用地整理(所有権調査・境界立会・用地交渉・分筆・所有権移転登記等)を行う必要があるが、これらの事務を速やかに処理すべく、研修参加や事務用品等の購入を行っている。 ・所有者を市とする用地取得や登記事務等であり、個人の財産状況に関することであるとともに、福知山市が権利者であることから市自らにおいて行うことが必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・継続して用地対策連絡協議会との連携及び研修への参加等を行っている。 ・用地対策連絡協議会との連携により周辺自治体と情報共有するとともに、課題について効率的な対応が可能となる。 ・市自ら事務を行う必要がある以上、研修参加等により事務担当者の知識・経験を高めることが効率的である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については、事業計画により設定される用地範囲に対する割合として設定している。用地取得率は事業規模及び権利者数等に左右されるが、各年度の成果目標として適切である。 ・年度毎の目標は概ね見込みに沿ったものである。必要な用地取得の結果、ハード事業が計画どおりに実施され、社会インフラの整備に寄与した。 ・用地事務に関しては、費用対効果や事務効率の観点から、直接事務執行を行う。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・用地対象者について、計画どおり契約でき、ハード事業の進捗を図ることができた。 ・用地買収については、事業の必要性を十分理解し、用地買収対象地等を適正に評価した上で交渉を行っていくもので、特に専門性や説明能力等が求められるものである。事業の成否は用地買収に左右されるという点からも、個別の事業における必要な成果は達成できた。		
改 善 策	・用地買収に係る交渉及び契約については専門的な知識が必要で、継続して担当できる職員の配置が重要であるとともに、人材育成のため、研修等に積極的に参加していく必要がある。 ・用地買収事務については、関係機関及び関係課と連携し、計画的に執行していく。		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地籍調査事業							事業コード	510121					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所 属	35070000 建設交通部 用地課					所属長	貴田直子						
会計情報	款	08 土木費		項	01 土木管理費		目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第7次国土調査事業10箇年計画				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	国土調査法・地籍調査作業規程準則													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	土地に関する基本情報(所在、地番、地目、所有者、境界、面積など)を1筆ごとに調査し、その結果を記録することにより、土地取引や公共用地の取得を円滑に進めるとともに土地利用の促進に寄与する。					
対象者	調査地区内の土地所有者		対象者数	2,500	単位あたりコスト	35.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	39,839		24,675		32,702		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	30,751		11,349		4,300								
	前年度繰越	46,400		15,649		4,300								
	次年度繰越	△ 15,649		△ 4,300		0								
小計(①～③)		70,590		36,024		37,002								
予算財源内訳	① 一般財源	19,605		12,347		21,199								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	50,964		23,589		15,705								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	21		88		98								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	70,590		36,024										
	③ 執行額	68,568		33,196										
	④ 執行率	97.1%		92.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	5.33	/	1.36	5.58	/	4.50	5.58	/	4.50	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	46,040		55,890		55,890		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		114,608		89,086		55,890		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	国土調査費補助金		種類	土木費府補助金		実績金額	11,598		決算付属資料	28		頁
			国土調査費補助金(繰越分)			土木費府補助金			11,671			28		
			地籍調査成果証明手数料			土木手数料			21			14		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	地籍調査事業成果法務局送付面積比率	%	0.34	/ 100	0.37	/ 100	0.41	/ 100	/	0	100
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	地籍調査事業着手面積(累計)	km2	8.07	/ 496.4	8.14	/ 496.4	8.14	/ 496.4	/	0	496.4
	単位あたりコスト		7839.1		8423.6		4078.1				
			/		/		/		/		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・事業の完了に伴い現地復元性のある地図が法務局に備え付けられ、土地取引・公共用地取得が容易になるなど、事業の必要性は高い。 ・国土強靱化の観点からも、災害に備えるため、速やかな災害復旧に不可欠な道路や河川等との官民境界をはじめとする境界復元が可能な図面を作成している。 ・地籍調査成果の証明等の事務もっており、令和3年度においては73件の申請があり、その成果証明書の活用により市民(土地所有者)の財産管理や売買等の土地の取引の活性化に寄与した。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・補助事業のうち、1/2が国庫補助、1/4が府補助、残り1/4の市費も80%が特別交付税の対象となり、実質市負担は5%で非常に有利な事業である。 ・事業実施においては、地籍調査作業規程準則や積算基準書に基づき設計積算し、指名競争入札等により公平性を確保した業務委託を行っている。 ・相続人等の権利調査については、課に配置された司法書士経験のある職員の指導のもと、業務委託せずに担当職員が事務を行うことで迅速かつ効率的な事務を図っている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については、地籍調査事業により、法務局に成果を送付した面積比率としている。 ・令和3年度の実績は前年度0.37%に対し0.41%と微増であるが、調査対象面積を未実施地区を中心とした市域面積の約9割としていることが理由であり、適切に把握・測定している。 ・令和3年度は、旧福知山町周辺1地区(字天田・0.22km²=22ha)の調査の成果を法務局に送付し、登記が完了したことにより、令和4年度の固定資産税等の課税対象面積や地目に反映され、課税の適正化が図れた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・順次新規地区に取り組み、適切に事業を進めている。 ・調査成果を法務局に登記し、現地復元性のある地図を備え付けることにより、土地の利活用の促進に寄与している。 ・本事業は、最初に法務局の登記資料の調査を行い、相続人調査をはじめとする所有者の特定、境界立会い、不調の場合の再調整の後、測量、数値のデータ化等の各作業工程の積み上げにより成り立っている。 ・このような事業の特性や、できるだけ筆界未定地を減らせるように不調者対応を丁寧に行っており、そのために現状では、1調査地区あたり5年以上の期間を要し、事業が長期に渡っている。 ・課題としては、地権者の土地に関する関心が低かったり、市外在住地権者の土地が多く存在する等の地区については、連絡調整等に時間を要し、調査期間が長期化する傾向にあることがあげられる。		
改 善 策	・今後の地籍調査の迅速化に向けては、調査地区面積の適正化や、委託工程の見直しのほか、国土調査法の改正により可能となった、遠方居住の方の図面や写真等による調査確認手法の積極的な活用や効率的な測量手法について、他市の先進的事例も参考にすることで、より効率的な事業推進を検討していきたい。 ・但し、筆界未定地の発生をできるだけ少なくするため、不調者等の対応はこれまで通り丁寧に行う。 ・また、令和2年度策定の国の10箇年計画に基づき、「優先度の高い地区」から実施することとし、本市においては、より経済効果の見込める地区を選定しつつ、効率的な進め方を検討していくこととする。一方、財源については、引き続き、近畿ブロック国土調査推進連絡協議会や京都府国土調査推進連絡協議会と連携し補助金の確保に努めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	法定外公共物管理事業							事業コード	510123		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備			
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所 属	35070000 建設交通部 用地課					所属長	貴田直子			
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市法定外公共物管理条例・同施行規則・福知山市法定外公共物の財産管理に関する処理要領・福知山市法定外公共物等改修助成金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	法定外公共物(里道・水路)の占用許可・用途廃止及び売払い等の事務執行を行い、適正な財産管理をすることにより、自治会等の地元に密接した法定外公共物(里道・水路)の適切な維持管理及び有効活用を図る。				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,584		2,554		3,907		予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		2,584		2,554		3,907							
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0							
	② 国支出金	0		0		0							
	③ 府支出金	0		0		0							
	④ 地方債	0		0		0							
	⑤ その他特財	2,584		2,554		3,907							
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	2,584		2,554									
	③ 執行額	2,088		1,872									
	④ 執行率	80.8%		73.3%									
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.10	/	0.85	1.77	/	0.95	1.77	/	0.95	0.00	/	0.00
	② 概算人件費	18,925		16,535		16,535		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		21,013		18,407		16,535		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	法定外公共物占用料(里道・水路)		種類	財産貸付収入		429		決算付属資料	32		頁
			法定外公共物管理事業基金繰入			基金繰入金		1,443			40		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	売払面積	m2	1,175.59	/	—	1,043.75	/	—	1,362.01	/	—
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1		R2		R3		R4		最終目標
	占用申請に対する許可件数	件	80	/	—	73	/	—	65	/	—
	単位あたりコスト		20.1		28.6		28.8				
	売払件数	件	9	/	9	20	/	20	13	/	10
	単位あたりコスト		178.2		104.4		144.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・法定外システムの利用により法定外公共物(里道・水路)の所在位置や境界確定情報の管理を行っている。これにより、占用許可・用途廃止及び売払い等の財産管理・処分や自治会が行う改修工事等に要する費用の一部の助成など、市民のニーズをふまえたものである。 ・法定外公共物(里道・水路)の所有権は市であり、財産管理や処分行為に関する意思決定は市で行うべきである。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・実態を有しない若しくは必要のなくなった法定外公共物について、用途廃止及び売払いを進めることで、効率的な維持管理が可能となる。 ・これらの事業は、法定外公共物占用許可に伴う占用料収入及び法定外公共物売払収入の積立先である公共施設等総合管理基金からの繰入金により、全て賄われており、本事業による収支としてはプラスである。(令和3年度: 占用料収入: 約275万円・売払収入: 約820万円) ・法定外管理システムにより、効率的な管理がなされているとともに、処分等の際も申請者側において書類作成を整えていただくことにより、事務処理の軽減に努めている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・法定外公共物の占用申請に対する許可件数、売払件数及び売払面積を成果目標としている。 ・収入的観点の把握により、費用対効果の測定が可能となるとともに、占用許可及び売払い等の実施により、財源を確保でき、継続的な法定外公共物の適正な管理に繋がるなどの効用が得られる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・法定外公共物の適正な管理に資するべく、占用許可及び売払い等を適切に実施できている。 ・実態を有しない若しくは必要のなくなった法定外公共物について、用途廃止及び売払いを進めることで、効率的な維持管理が可能となる。 ・法定外公共物の改修助成については、適正な維持管理に資するべく、平成30年6月に助成制度に関する要綱改正を行い助成対象を拡大した。これにより地元要望に対して、より効果的な対応が可能となった。 ・課題としては、法定外公共物の日常的な維持管理については地元で対応いただいているが、災害時など緊急的な対応を行う際の修繕料の確保が必要である。		
改 善 策	・災害時など緊急性を要する場合については、予算確保に努めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入(3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	未登記用地測量事業							事業コード	120306		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備			
	施 策 名	1 道路等の適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所 属	35070000 建設交通部 用地課					所属長	貴田 直子			
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算付属資料	186・188	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R4現在の状況	継続中
根拠法令等											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・権利上の道路等の適切な維持管理を確保すべく、市道内に未登記用地(個人名義の登記等)の存在が確認された場合に、その権原を取得するものである。				
対象者	未登記用地であることが確認された土地の所有者	対象者数	1	単位あたりコスト	4,493.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	500		500		500		予算編成時記入 (3次公表時)						
	② 補正予算	0		0		0								
	③ 繰越予算	0		0		0								
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		500		500		500								
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0								
	② 国支出金	0		0		0								
	③ 府支出金	0		0		0								
	④ 地方債	0		0		0								
	⑤ その他特財	500		500		500								
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	500		500										
	③ 執行額	486		283										
	④ 執行率	97.2%		56.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.16	/	0.70	0.37	/	0.50	0.37	/	0.50	0.00	/	0.00	
	② 概算人件費	3,030		4,210		4,210		0						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,516		4,493		4,210		0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	法定外公共物占用料(里道・水路)		種類	財産貸付収入		実績金額	283		決算付属資料	32		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	寄附を受けた土地の面積	㎡	1,467.23 / -	3,611.19 / -	1,738.63 / -	/ -	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	寄附申出による登記筆数	筆	23 / -	23 / -	24 / -	/ -	
	単位あたりコスト		13.5	18.7	11.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・市道内にある個人所有地を整理することにより、所有者が権原を取得し、適切な管理につなげている。 ・地積測量図の作成は民間事業者に依頼することもあるが、その権原の取得に際しての事情説明等については、道路管理者かつ将来的な所有者である市において行うことが必要。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・市道内未登記用地の整理を行う際、分筆依頼を必要とする場合がある。その際には専門家である土地家屋調査士への業務委託を行うが、相応の費用が必要。 ・コスト削減や効率化については、案件ごとの事情及び用地整理の必要性等を勘案の上、優先順位を検討するなど、コスト低減を図っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果目標については、申出に対するものであることから実測値とすることが妥当である。 ・未登記用地が解消され、権原を取得することで市民満足度の向上とともに、市道改良をはじめとする事業の進捗にも影響する。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・市道の境界確定や地籍調査において未登記用地が確認される場合のほか、所有者からの申告による場合があるが、いずれの場合においても市道内に存在する個人等名義地については、その権原の取得を要する。 ・現状、寄附申出のあった土地については、分筆等も含めて概ね適正かつ速やかに対応できている。 ・課題としては、現時点において未登記用地の全数が把握しきれないことが挙げられる。		
改 善 策	・今後、境界確定及び地籍調査事業を通じて明らかになるものについて、その都度検討を行い、所有者に説明の上、権原の取得に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	予算編成に記入 (3次公表時)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)